



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月15日

上場会社名 株式会社 日阪製作所 上場取引所 東
 コード番号 6247 URL https://www.hisaka.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 宇佐美 俊哉
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理、経営戦略、IR担当 (氏名) 波多野 浩史 TEL 06-6363-0007
 定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月7日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	34,180	0.3	2,457	28.5	2,896	21.1	2,420	18.6
2023年3月期	34,074	13.3	1,912	5.1	2,392	5.4	2,040	△0.9

(注) 包括利益 2024年3月期 4,736百万円 (64.4%) 2023年3月期 2,880百万円 (54.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	85.83	—	4.2	3.8	7.2
2023年3月期	72.45	—	3.7	3.5	5.6

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 29百万円 2023年3月期 40百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	82,017	60,301	73.1	2,125.77
2023年3月期	70,977	56,302	79.1	1,992.64

(参考) 自己資本 2024年3月期 59,983百万円 2023年3月期 56,155百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	△461	△3,822	3,828	13,746
2023年3月期	1,485	△2,812	△1,001	13,871

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	1,127	55.2	2.0
2024年3月期	—	20.00	—	22.00	42.00	1,185	48.9	2.0
2025年3月期(予想)	—	21.00	—	21.00	42.00		74.1	

(注) 2023年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 創立80周年記念配当 5円00銭
 2023年3月期 期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 創立80周年記念配当 5円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,000	9.0	600	△29.5	800	△30.2	600	△26.4	21.26
通期	37,000	8.2	2,000	△18.6	2,300	△20.6	1,600	△33.9	56.70

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	32,732,800株	2023年3月期	32,732,800株
2024年3月期	4,515,300株	2023年3月期	4,551,198株
2024年3月期	28,205,937株	2023年3月期	28,168,850株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、〔添付資料〕4ページ「1. 経営成績等の概況」の「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足資料は、2024年5月15日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績及び概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. その他	17
・補足情報（IR情報）	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績及び概況

当連結会計年度における世界経済は、地政学的リスクの高まりや欧米における金融引き締め政策が継続する一方、堅実な設備投資などを背景に底堅く推移しました。国内経済は個人消費やインバウンド消費の回復など、緩やかな改善傾向が続いているものの、エネルギー価格をはじめとした物価高の長期化などにより、先行き不透明な状況が続いています。

当社グループにおきましては、2023年4月より新中期経営計画「G-23」をスタートさせ、奈良県に「生駒事業所」を開設し、プロセスエンジニアリング事業を「鴻池事業所」より移転するとともに、熱交換器事業、バルブ事業の生産体制強化に向け「鴻池事業所」の再構築に着手しました。その他の取り組みとして、国内関係会社の統合など、事業拡大、生産性向上に向けた大型投資、事業基盤の整備を行いました。

このような状況の中、当連結会計年度における当社グループの受注高は、熱交換器事業、プロセスエンジニアリング事業が好調に推移したことにより、前年度に比べ9.8%増加し37,999百万円となりました。売上高は、熱交換器事業、バルブ事業が増収となったことにより、前年度に比べ0.3%増加し34,180百万円となりました。

利益面では、売上の増加、売価改善の効果などにより、営業利益は前年度に比べ28.5%増加し2,457百万円となり、経常利益は前年度に比べ21.1%増加し2,896百万円となりました。また、前年度に引き続き、特別利益に政策保有株式の縮減による投資有価証券売却益を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は前年度に比べ18.6%増加し2,420百万円となりました。

なお、当連結会計年度より、中東地域においてプレート式熱交換器のメンテナンスサービスを実施している「HISAKA MIDDLE EAST CO.,LTD.」を連結の範囲に含めています。また、セグメントは「熱交換器事業」としていません。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

『熱交換器事業』

熱交換器事業は様々な産業で不可欠となる、流体の加熱・冷却を行うプレート式熱交換器などを製造・販売する事業です。

受注高は、前年度に比べ20.2%増加し16,900百万円となりました。新造船の需要拡大により船舶向けが好調に推移したことに加え、エネルギー関連の海外大口プラント案件を受注しました。

売上高は、前年度に比べ13.0%増加し15,161百万円となりました。ヒートポンプや半導体向けの中小型汎用品、メンテナンス関連や船舶向けが好調に推移しました。

セグメント利益は、原材料価格の上昇があったものの、売上の増加やセールスマックスの改善などにより、前年度に比べ124.7%増加し1,831百万円となりました。

『プロセスエンジニアリング事業』

プロセスエンジニアリング事業は、レトルト食品などの調理殺菌装置、医薬品の滅菌装置や培養装置及び繊維製品の染色仕上機器などを製造・販売する事業です。

受注高は、前年度に比べ3.4%増加し16,058百万円となりました。医薬機器、染色仕上機器が低調となったものの、食品機器において大型の殺菌装置や省人化ニーズを受けた自動化装置などの受注が好調に推移しました。

売上高は、前年度に比べ11.9%減少し13,977百万円となりました。食品機器において全自動連続殺菌冷却装置が堅調に推移したほか、飲料水関連のプラント案件などがあったものの、前年度の受注減により、医薬機器、染色仕上機器の売上が減少しました。

セグメント利益は、売上の減少、新事業所の開設費用などにより、前年度に比べ68.5%減少し263百万円となりました。

『バルブ事業』

バルブ事業は、様々な流体の制御に使われるボールバルブなどを製造・販売する事業です。

受注高は、前年度に比べ0.4%増加し4,953百万円となりました。海外向けが低調となったものの、二次電池や半導体、水素関連設備向けが好調に推移しました。

売上高は、前年度に比べ5.5%増加し4,954百万円となりました。化学向けに大口案件があったことに加え、二次電池や半導体、水素関連設備向けが好調に推移しました。

セグメント利益は、売上が増加したことなどにより、前年度に比べ24.8%増加し423百万円となりました。

『セグメント別業績』

(単位：百万円／(%) 前年同期比増減率)

	熱交換器事業	プロセスエンジニアリング事業	バルブ事業	その他事業
受注高	16,900 (20.2%)	16,058 (3.4%)	4,953 (0.4%)	87 (△4.0%)
売上高	15,161 (13.0%)	13,977 (△11.9%)	4,954 (5.5%)	87 (△4.0%)
セグメント利益	1,831 (124.7%)	263 (△68.5%)	423 (24.8%)	63 (△5.6%)

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の資産は82,017百万円となり、前連結会計年度末70,977百万円から11,039百万円の増加となりました。

流動資産は38,636百万円となり、前連結会計年度末35,274百万円から3,362百万円の増加となりました。主な内訳は、現金及び預金13,836百万円、売上債権11,440百万円及び棚卸資産12,056百万円であります。主な増加要因は、棚卸資産2,161百万円であります。

固定資産は43,380百万円となり、前連結会計年度末35,703百万円から7,676百万円の増加となりました。主な内訳は、建物及び構築物13,405百万円、土地7,342百万円、及び投資有価証券16,170百万円であります。主な増加要因は、建物及び構築物7,754百万円であります。

(負債)

当連結会計年度末の負債は21,715百万円となり、前連結会計年度末14,675百万円から7,040百万円の増加となりました。

流動負債は12,884百万円となり、前連結会計年度末11,907百万円から976百万円の増加となりました。主な内訳は、仕入債務5,728百万円であります。主な増加要因は、仕入債務393百万円であります。

固定負債は8,831百万円となり、前連結会計年度末2,767百万円から6,063百万円の増加となりました。主な内訳は、社債4,000百万円及び繰延税金負債3,534百万円であります。主な増加要因は、社債4,000百万円であります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は60,301百万円となり、前連結会計年度末56,302百万円から3,999百万円の増加となりました。主な内訳は、資本金4,150百万円、資本剰余金8,820百万円、利益剰余金41,983百万円及びその他有価証券評価差額金8,144百万円であります。主な増加要因は、その他有価証券評価差額金2,121百万円であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、税金等調整前当期純利益の計上3,261百万円や社債の発行による収入3,969百万円等の増加要因があったものの、固定資産の取得による支出5,664百万円や棚卸資産の増加2,034百万円等の減少要因があったことにより、前連結会計年度末の13,871百万円から124百万円減少し、当連結会計年度末では13,746百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、支出した資金は461百万円となりました。

これは、税金等調整前当期純利益の計上があったものの、棚卸資産の増加や法人税等の支払が上回ったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は3,822百万円となりました。

これは、投資有価証券の売却による収入があったものの、固定資産の取得による支出が上回ったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は3,828百万円となりました。

これは、配当金の支払があったものの、社債の発行による収入が上回ったためであります。

《参考》キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率	79.1 %	73.1 %
時価ベースの自己資本比率	35.5 %	35.1 %
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.1 年	－ 年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	1,341.0 倍	－ 倍

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

※4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

※5. 2024年3月期の「キャッシュ・フロー対有利子負債比率」及び「インタレスト・カバレッジ・レシオ」については、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載しておりません。

(4) 今後の見通し

この先の経済情勢は、堅調な企業収益や個人消費を背景に継続して緩やかな改善基調で推移することが期待される一方、地政学的リスクの高まりやエネルギー価格をはじめとした物価高の長期化など、先行きは不透明な状況が続くとみられます。

このような環境の中、当社グループおきましては、減価償却費や人件費増などがあるものの、中期経営計画「G-23」に基づき、省エネ、省人化など、社会課題の解決に向け、グループ一丸となり新製品開発やサービス事業の拡充、生産体制の強化など諸施策を進めてまいります。

以上により、2025年3月期は次の連結業績を予想しております。

《参考》『連結業績予想』（2024年4月1日～2025年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益	(参考)受注高
上期	18,000	600	800	600	21円26銭	20,000
下期	19,000	1,400	1,500	1,000	35円44銭	19,000
通期	37,000	2,000	2,300	1,600	56円70銭	39,000

(注) 業績見通しにつきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際会計基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,865	13,836
受取手形	906	493
売掛金	6,985	7,809
電子記録債権	2,582	3,137
商品及び製品	2,685	3,351
仕掛品	4,909	5,035
原材料及び貯蔵品	2,299	3,670
その他	199	1,313
貸倒引当金	△160	△11
流動資産合計	35,274	38,636
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,367	24,635
減価償却累計額	△10,716	△11,230
建物及び構築物(純額)	5,651	13,405
機械装置及び運搬具	11,421	12,173
減価償却累計額	△9,926	△10,055
機械装置及び運搬具(純額)	1,495	2,117
工具、器具及び備品	4,864	5,171
減価償却累計額	△4,409	△4,536
工具、器具及び備品(純額)	455	635
土地	7,299	7,342
建設仮勘定	4,644	416
その他	71	118
減価償却累計額	△53	△69
その他(純額)	17	48
有形固定資産合計	19,562	23,965
無形固定資産		
ソフトウェア	214	168
のれん	79	57
その他	218	388
無形固定資産合計	512	613
投資その他の資産		
投資有価証券	13,284	16,170
退職給付に係る資産	1,406	1,687
その他	937	942
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	15,628	18,800
固定資産合計	35,703	43,380
資産合計	70,977	82,017

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,152	3,709
電子記録債務	2,182	2,018
未払法人税等	509	308
契約負債	3,456	3,788
製品保証引当金	259	97
受注損失引当金	56	211
賞与引当金	832	796
その他	1,457	1,953
流動負債合計	11,907	12,884
固定負債		
社債	—	4,000
長期借入金	—	1,000
繰延税金負債	2,532	3,534
退職給付に係る負債	148	193
その他	86	103
固定負債合計	2,767	8,831
負債合計	14,675	21,715
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150	4,150
資本剰余金	8,818	8,820
利益剰余金	40,501	41,983
自己株式	△3,923	△3,892
株主資本合計	49,546	51,061
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,022	8,144
繰延ヘッジ損益	△1	△30
為替換算調整勘定	319	598
退職給付に係る調整累計額	267	211
その他の包括利益累計額合計	6,609	8,922
非支配株主持分	146	317
純資産合計	56,302	60,301
負債純資産合計	70,977	82,017

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	34,074	34,180
売上原価	26,364	25,876
売上総利益	7,710	8,304
販売費及び一般管理費	5,798	5,847
営業利益	1,912	2,457
営業外収益		
受取利息	10	16
受取配当金	378	395
持分法による投資利益	40	29
為替差益	47	29
その他	41	36
営業外収益合計	517	507
営業外費用		
支払利息	1	3
社債発行費	—	30
手形売却損	1	0
休止固定資産維持費用	32	32
その他	2	1
営業外費用合計	37	68
経常利益	2,392	2,896
特別利益		
固定資産売却益	0	3
投資有価証券売却益	554	719
特別利益合計	555	722
特別損失		
固定資産除売却損	71	66
工場等移転費用	—	168
工場再構築費用	—	112
災害関連費用	—	10
80周年記念行事費用	35	—
特別損失合計	107	357
税金等調整前当期純利益	2,840	3,261
法人税、住民税及び事業税	835	694
法人税等調整額	△48	94
法人税等合計	786	789
当期純利益	2,053	2,472
非支配株主に帰属する当期純利益	12	51
親会社株主に帰属する当期純利益	2,040	2,420

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	2,053	2,472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	587	2,126
繰延ヘッジ損益	20	△29
為替換算調整勘定	117	234
退職給付に係る調整額	106	△56
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	△10
その他の包括利益合計	826	2,263
包括利益	2,880	4,736
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,867	4,679
非支配株主に係る包括利益	13	56

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,150	8,818	39,446	△3,957	48,457
当期変動額					
剰余金の配当			△985		△985
親会社株主に帰属する当期純利益			2,040		2,040
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△0		34	33
連結範囲の変動			—		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△0	1,055	34	1,088
当期末残高	4,150	8,818	40,501	△3,923	49,546

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	5,435	△22	208	161	5,783	137	54,378
当期変動額							
剰余金の配当							△985
親会社株主に帰属する当期純利益							2,040
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							33
連結範囲の変動			—		—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	587	20	111	106	826	8	835
当期変動額合計	587	20	111	106	826	8	1,923
当期末残高	6,022	△1	319	267	6,609	146	56,302

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,150	8,818	40,501	△3,923	49,546
当期変動額					
剰余金の配当			△1,127		△1,127
親会社株主に帰属する当期純利益			2,420		2,420
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		1		31	32
連結範囲の変動			189		189
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	1	1,481	30	1,514
当期末残高	4,150	8,820	41,983	△3,892	51,061

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	6,022	△1	319	267	6,609	146	56,302
当期変動額							
剰余金の配当							△1,127
親会社株主に帰属する当期純利益							2,420
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							32
連結範囲の変動			54		54	103	346
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,121	△29	223	△56	2,258	68	2,326
当期変動額合計	2,121	△29	278	△56	2,313	171	3,999
当期末残高	8,144	△30	598	211	8,922	317	60,301

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,840	3,261
減価償却費	1,045	1,259
のれん償却額	22	22
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	150	△149
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	135	△161
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△37	155
賞与引当金の増減額 (△は減少)	108	△37
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△223	△362
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	15	19
受取利息及び受取配当金	△388	△412
支払利息	1	1
社債発行費	—	30
為替差損益 (△は益)	△53	△58
持分法による投資損益 (△は益)	△40	△29
投資有価証券売却損益 (△は益)	△554	△719
固定資産除売却損益 (△は益)	70	63
工場等移転費用	—	168
工場再構築費用	—	112
災害関連費用	—	10
80周年記念行事費用	35	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,154	△866
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,467	△2,034
仕入債務の増減額 (△は減少)	286	385
契約負債の増減額 (△は減少)	663	261
未払消費税等の増減額 (△は減少)	154	△712
未収入金の増減額 (△は増加)	△25	7
その他	322	5
小計	1,906	220
利息及び配当金の受取額	388	413
利息の支払額	△1	△0
工場等移転費用の支払額	—	△154
工場再構築費用の支払額	—	△1
災害関連費用の支払額	—	△10
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△808	△928
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,485	△461
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△95	△85
定期預金の払戻による収入	195	99
長期預金の預入による支出	△10	△0
長期預金の払戻による収入	1,010	902
固定資産の取得による支出	△4,978	△5,664
固定資産の売却による収入	0	12
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	1,065	919
短期貸付金の増減額 (△は増加)	—	△0
保険積立金の積立による支出	△9	△49
保険積立金の解約による収入	12	44
その他	1	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,812	△3,822

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	△3	△2
社債の発行による収入	—	3,969
リース債務の返済による支出	△10	△10
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△983	△1,123
非支配株主への配当金の支払額	△4	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,001	3,828
現金及び現金同等物に係る換算差額	58	102
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,270	△351
現金及び現金同等物の期首残高	16,141	13,871
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	227
現金及び現金同等物の期末残高	13,871	13,746

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは製品・サービスに基づき、「熱交換器事業」「プロセスエンジニアリング事業」及び「バルブ事業」の3つを報告セグメントとし、これらに該当しないセグメントを「その他」としております。

各セグメントは、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

各セグメントの製品概要は次のとおりです。

熱交換器事業は様々な産業で不可欠となる、流体の加熱・冷却を行うプレート式熱交換器を製造・販売する事業です。

プロセスエンジニアリング事業は、レトルト食品などの殺菌装置や、医薬品の滅菌装置、繊維製品の染色仕上機器などを製造・販売する事業です。

バルブ事業は、様々な流体の制御に使われるボールバルブなどを製造・販売する事業です。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」に掲げる会計処理基準の記載内容と概ね同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益をベースとした数値であります。

報告セグメントの資産は、報告セグメントが保有する売上債権、棚卸資産及び事業用固定資産の数値であります。

また、本社等の共用資産については各報告セグメントに配分しておりませんが、関連する費用については合理的な基準に基づいて各報告セグメントに配分しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	熱交換器	プロセスエン 지니어リング	バルブ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,418	15,869	4,696	33,983	90	34,074
セグメント利益	814	833	339	1,987	66	2,054
セグメント資産	14,943	11,429	4,151	30,523	919	31,443
その他の項目						
減価償却費	571	289	134	995	10	1,006
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	194	179	81	455	—	455

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、発電事業等であります。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	熱交換器	プロセスエン 지니어リング	バルブ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,161	13,977	4,954	34,093	87	34,180
セグメント利益	1,831	263	423	2,517	63	2,580
セグメント資産	19,611	20,346	4,913	44,871	908	45,780
その他の項目						
減価償却費	607	423	150	1,182	10	1,192
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	762	5,024	94	5,881	—	5,881

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、発電事業等であります。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	33,983	34,093
「その他」の区分の売上高	90	87
連結財務諸表の売上高	34,074	34,180

(単位: 百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,987	2,517
「その他」の区分の利益	66	63
のれんの償却額	△22	△22
全社費用(注)	△123	△156
棚卸資産の調整額	9	4
その他の調整額	△6	50
連結財務諸表の営業利益	1,912	2,457

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(単位: 百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	30,523	44,871
「その他」の区分の資産	919	908
全社資産(注)	39,544	36,242
棚卸資産の調整額	△9	△4
連結財務諸表の資産合計	70,977	82,017

(注) 全社資産は、報告セグメントに帰属しない余剰資金運用や長期投資資金及び管理部門に係る資産等であります。

(単位: 百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	995	1,182	10	10	39	66	1,045	1,259
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	455	5,881	—	—	4,500	236	4,956	6,118

(注) 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各セグメントに帰属しない共用資産における投資額等であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,992.64円	2,125.77円
1株当たり当期純利益	72.45円	85.83円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	56,302	60,301
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	146	317
(うち非支配株主持分(百万円))	(146)	(317)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	56,155	59,983
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	28,181,602	28,217,500

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,040	2,420
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,040	2,420
普通株式の期中平均株式数(株)	28,168,850	28,205,937

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

・補足情報（IR情報）

(1) セグメント別売上高

(単位：百万円)

項目	前年度 2022年4月～2023年3月		当年度 2023年4月～2024年3月		増減金額	前年度比
	金額	構成比	金額	構成比		
熱交換器	(3,286) 13,418	(9.7 %) 39.4	(4,285) 15,161	(12.5 %) 44.4	(998) 1,742	(130.4 %) 113.0
プロセス エンジニアリング	(2,700) 15,869	(7.9) 46.6	(2,317) 13,977	(6.8) 40.9	(△383) △1,891	(85.8) 88.1
パルプ	(822) 4,696	(2.4) 13.8	(774) 4,954	(2.3) 14.5	(△47) 258	(94.2) 105.5
その他	(-) 90	(-) 0.2	(-) 87	(-) 0.2	(0) △3	(-) 96.0
合計	(6,809) 34,074	(20.0) 100.0	(7,377) 34,180	(21.6) 100.0	(568) 106	(108.3) 100.3

注. ()は海外売上高で内書であります。

(2) セグメント別受注高及び受注残高

項目	前年度 2022年4月～2023年3月		当年度 2023年4月～2024年3月		増減金額	前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比			
受注高	熱交換器	(3,449) 14,059	(10.0 %) 40.6	(5,297) 16,900	(13.9 %) 44.5	(1,847) 2,841	(153.5 %) 120.2
	プロセス エンジニアリング	(3,015) 15,536	(8.7) 44.9	(2,386) 16,058	(6.3) 42.3	(△ 629) 521	(79.1) 103.4
	パルプ	(879) 4,934	(2.5) 14.2	(891) 4,953	(2.4) 13.0	(12) 18	(101.4) 100.4
	その他	(-) 90	(-) 0.3	(-) 87	(-) 0.2	(-) △ 3	(-) 96.0
	合計	(7,344) 34,621	(21.2) 100.0	(8,575) 37,999	(22.6) 100.0	(1,230) 3,377	(116.8) 109.8
受注残高	熱交換器	(1,871) 4,850	(9.7) 25.2	(3,246) 6,952	(13.9) 29.7	(1,374) 2,102	(173.5) 143.4
	プロセス エンジニアリング	(2,478) 13,059	(12.9) 67.9	(2,547) 15,140	(10.9) 64.6	(68) 2,080	(102.8) 115.9
	パルプ	(218) 1,327	(1.1) 6.9	(335) 1,326	(1.4) 5.7	(117) △ 1	(153.5) 99.9
	その他	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -
	合計	(4,568) 19,237	(23.7) 100.0	(6,129) 23,419	(26.2) 100.0	(1,560) 4,181	(134.2) 121.7

注1. ()は海外受注高及び海外受注残高で内書であります。

2. 「熱交換器」の当連結会計年度末の受注残高は、第1四半期末より連結の範囲に含めたHISAKA MIDDLE EAST CO., LTD.の受注残高を含めて表示しており、前連結会計年度の受注残高から当連結会計年度の売上高、受注高を加味した金額とは一致しません。